

## 2021年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
123231089	イベントプロデュース演習	白井宏幸		専門	1	選択	3前期
<b>科目の概要</b>							
<p>本科目では、イベントの企画・アイデアの発想法、企画書の作成の方法、マーケティング手法、集客方法、そしてイベント本体の運営方法までひとつのイベントが完成に至るまでの一連の過程に必要な知識・技術を体験的に学修していく。これにより、スタジオのプロジェクトでイベントを実施し、その目標を達成するために必要となるノウハウを学ぶ。また、その中で、イベントにおけるプロデューサーの役割についても同時に理解していく。</p>							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
<p>① イベントの持つ社会的役割やイベントがもたらす効果を知る。 ② イベントを企画し、提案するための方法を知る。 ③ イベントを運営するための一連のノウハウを知る。</p>				<p>① イベントの持つ社会的役割やイベントがもたらす効果を説明することができる。 ② イベントを発案し、企画書としてまとめることができる。 ③ イベント運営の一連のノウハウを知り、現場に応用することができる。</p>			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	授業時間外の予・復習をしっかりと行ったうえで授業にも積極的に参加することができる。					
	働きかけ力						
	実行力						
考え抜く力	課題発見力	実習での体験、授業で紹介される事例のほかにも自身でも様々な事例を探し、発想を広げることができる。					
	計画力						
	創造力						
チームで働く力	発信力						
	傾聴力						
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	授業内で決められたルールを遵守することができる。					
	ストレスコントロール力						
<b>テキスト及び参考文献</b>							
<p>テキスト：使用しない。必要な資料は授業内で配布する。 参考書：授業内で適宜紹介していく。</p>							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
「地域の暮らしと生産」（1年後期）、「スタジオA, B, C」（3年通年）							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
授業内容を理解するうえでも、各種イベントに積極的に参加してほしい。				この科目はグループワークを中心として進行していくため、欠席しないようにしてほしい。どうしても欠席しなければならない場合には、教員だけでなく、グループメンバーにも事前連絡をすること。また、ディスカッションなどの場面では積極的な態度で臨むことを心掛けてほしい。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
		レポート		30	①	✓	イベント体験① 参加者側の視点からイベントをレポートする。(15点)
					②	✓	イベント体験② 運営者側の視点からイベントをレポートする。(15点)
③					✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			60	①	✓	イベントの企画書（30点） 企画の独自性、妥当性、実現可能性を主な評価のポイントとする。	
				②	✓	イベントの実施案のプレゼンテーション（30点） 実施案の精度と妥当性を主な評価のポイントとする。	
	③			✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	【主体性】 授業時間外の予・復習をしっかり行ったうえで授業にも積極的に参加することができる。		
			②	✓	【課題発見力】 実習での体験、授業で紹介される事例のほかにも自身でも様々な事例を探し、発想を広げることができる。		
			③	✓			
					【規律性】 授業内で決められたルールを遵守することができる。		
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に積極的に参加し、グループワークなどの際にリーダーシップあるいはフォロワーシップが発揮できている。</li> <li>・優れた着想と明確な根拠に基づいて課題が作成されている。</li> </ul> 上記2点が特に優れていると判断した場合にS評価とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に積極的に参加している。</li> <li>・課題が期日内に条件通りに提出できている。</li> </ul>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	イントロダクション イベントの種類 みんなのイベント体験 を紹介しあう。	講義 質疑応答 ディスカッション	科目の概要が理解できる。 多様なイベントの種類 が理解できる。	(予習) シラバスを 読んで、この科目の学 修内容を理解しておく。 (復習) 各種イベント の事例を探す。	90	主体性 課題発見力 規律性
2	地域とイベント 岡崎市で開催されるイ ベントとそれが地域 にもたらす効果につい て知る。	講義 ディスカッション	岡崎市で開催されるイ ベントが地域にどのよ うなこうかをもちらし めているか理解できる。	(予習) 岡崎市で開 催されるイベントを調 べる。 (復習) 岡崎市で開 催されるイベントをさ らに調べる。	90	主体性 課題発見力 規律性
3	イベント体験①-1 参加者側の視点からイ ベントを調査する。	実習 フィールドワーク	イベントに参加でき る。	(予習) 参加するイ ベントの概要を確認し ておく。 (復習) 参加したイ ベントの内容をレポート にまとめる。	120	主体性 課題発見力 規律性
4	イベント体験①-2 参加者側の視点からイ ベントを調査する。	実習 フィールドワーク	イベントに参加でき る。	(予習) 参加するイ ベントの概要を確認し ておく。 (復習) 参加したイ ベントの内容をレポート にまとめる。	120	主体性 課題発見力 規律性
5	イベントの企画① イベントの概要を6W2H で整理する。	講義 グループワーク	イベントの基本構成要 素が理解できる。	(予習) 事前に配布さ れた資料を確認して おく。 (復習) 各種イベ ントの事例を6W2H で整理する。	90	主体性 課題発見力 規律性
6	イベントの企画② イベントの目的から ターゲットとベネ フィットを設定する。	講義 グループワーク	イベントの目的から ターゲットとベネ フィットが設定でき る。	(予習) 事前に配布さ れた資料を確認して おく。 (復習) 授業時間内 に完了しなかった課 題を完成させる。	90	主体性 課題発見力 規律性
7	イベントの企画③ 目的目標にそって、イ ベント内容を検討す る。	講義 グループワーク	イベントの企画内容を まとめることができ る。	(予習) 事前に配布さ れた資料を確認して おく。 (復習) 授業時間内 に完了しなかった課 題を完成させる。	90	主体性 課題発見力 規律性
8	イベントの企画④ イベントの企画書を作 成する。	グループワーク グループディスカ ッション	イベントの企画書を作 成することができる。	(予習) 事前に配布さ れた資料を確認して おく。 (復習) 授業時間内 に完了しなかった課 題を完成させる。	90	主体性 課題発見力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	イベント体験②-1 イベントの運営補助を体験する。	実習	イベントの運営補助ができる。	(予習) 補助を行うイベント内での自分の役割を確認しておく。 (復習) 運営に参加したイベントの内容をレポートにまとめる。	120	主体性 課題発見力 規律性
10	イベント体験②-1 イベントの運営補助を体験する。	実習	イベントの運営補助ができる。	(予習) 補助を行うイベント内での自分の役割を確認しておく。 (復習) 運営に参加したイベントの内容をレポートにまとめる。	120	主体性 課題発見力 規律性
11	イベントの運営計画① イベントの運営に関わるスタッフの種類と役割を知る。 自分たちで作成したイベント企画に必要な人員構成を検討する。	講義 グループワーク	イベントの運営に関わるスタッフの種類と役割が理解できる。	(予習) 事前に配布された資料を確認しておく。 (復習) 授業時間内に完了しなかった課題を完成させる。	90	主体性 課題発見力 規律性
12	イベントの運営計画② イベントの宣伝告知の効果的な方法を知る。 自分たちで作成したイベント企画に最適な宣伝告知の方法を検討する。	講義 グループワーク	宣伝告知の方法とその必要性が理解できる。	(予習) 事前に配布された資料を確認しておく。 (復習) 授業時間内に完了しなかった課題を完成させる。	90	主体性 課題発見力 規律性
13	イベントの運営計画③ イベント開催のために必要な準備を知る。 自分たちで作成したイベント企画を実施するために必要な準備を検討する。	講義 グループワーク	イベント開催のための事前準備の重要性が理解できる。	(予習) 事前に配布された資料を確認しておく。 (復習) 授業時間内に完了しなかった課題を完成させる。	90	主体性 課題発見力 規律性
14	イベントの運営計画④ 自分たちで作成したイベント企画のタイムテーブルを作成する。	講義 グループワーク	イベントのタイムテーブルを作成することができる。	(予習) 事前に配布された資料を確認しておく。 (復習) 授業時間内に完了しなかった課題を完成させる。	90	主体性 課題発見力 規律性
15	コンクルージョン 授業内で作成したイベント案を発表し、相互に意見を交換する。	プレゼンテーション グループディスカッション	イベント案を発表することができる。 ディスカッションに参加できる。	(予習) 発表の準備をしておく。 (復習) 自身の発表に対して受けた指摘をまとめる。	90	主体性 課題発見力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力